

# 象成

栃木市立大宮北小学校だより  
令和6年度11月号 HP 版 文責：校長

明治6年に本校の前身として開校された「象成学舎」の名にちなみ、学校だよりの題字を「象成」(しょうせい)としました。

大宮北小・ホームページ

<https://tm2.tcn.ed.jp/o-kita/>

QRコードから

スマートフォン等でも

日頃の様子をどうぞ

ご覧ください。



11月

秋の深まりとともに・・・



心をついに演奏し、練習の成果を発揮した  
「吹奏楽」下都賀地区音楽発表会・  
栃木県音楽祭中央祭

「文化芸術の秋」…吹奏楽部の子どもたちが10月1日に下都賀地区音楽発表会で推薦され、10月22日には栃木県音楽祭中央祭において「優秀賞」を受賞しました。また11月4日の「大宮地区まつり」でも会場を大いに盛り上げ、努力の成果を発揮することができました。

秋の深まりとともに、「読書の秋」「スポーツの秋」「食と健康の秋」…など、様々な教育活動を通して、子どもたちの学力向上、健康な心身の育成に努めてまいります。

ご家庭でも、秋の夜長に、学校での様子をたくさんお話しください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 「地域とともにある学校(小中一貫コミュニティ・スクール)」づくりの推進

本校では、学校・地域・家庭が教育の目標を共有し、一体となって教育活動の充実に取り組む「地域とともにある学校(小中一貫コミュニティ・スクール)」を推進しています。

PTA 本部役員会(10/8)では、スポーツフェスティバルへの協力や PTA 祭の運営について話し合っていました。学校運営協議会(10/29)では、1年生と校内教育支援センター[いろどり教室]の授業を参観し、子どもたちの思いや主体性を大切にしているとのこと感想をいただきました。また、学校行事等の地域・家庭の参観の在り方や、次年度以降の課外活動についてもご協議いただきました。



PTA 本部役員会の様子



学校運営協議委員の授業参観と協議の様子



## 多様な人々から学ぶ体験活動の充実

4年生:盲導犬ユーザーの方の話



1・2年生:生活科交流学习



栄養教諭による「朝食について」の指導

いろいろな学年の授業にTTとしてかわかり、専門的な指導をしています。



4年生は、総合的な学習の時間に福祉について学習しています。10月には、盲導犬ユーザーの方の話を聴いたり、手話体験をしたりして、学びを深めました。2年生が、生活科でおもちゃ作りをして、身近にある材料を使っているいろいろな遊びを工夫しました。できあがったおもちゃを使って1年生と交流し、楽しく学び合う時間となっています。



# 一人一人が輝き、笑顔いっぱいの「スポーツフェスティバル」



10月19日(土)に、令和6年度スポーツフェスティバルを実施しました。子どもたちの「最後まであきらめずに頑張る姿」や「お互いに認め励まし合う姿」に、とても感動しました。大宮北小の「いいところ」がたくさん見つかり、うれしくなりました。保護者・ご家族の皆様には、早朝より、子どもたちを見守り、ご声援いただき、ありがとうございました。



1年:めざせ!玉入れマスター!



3年:はいよろこんで!全力疾走



5年:引くのかい?引かれるのかい?どっちなんだい?パワー!

徒競走や障害物競走では、ゴールまで全力で走り切ることができました。  
団体種目では、仲間と力を合わせて頑張り抜くことができました。



2年:にじ色にかがやけ!大北オリンピック!



4年:大旋風!大北ヒーローアカデミア!



6年:DAIKITA 疾風伝~6年間の集大成をみせてやるってばよ



6年:第6次忍界対戦...ここに宣戦を布告する



4~6年:選抜対抗リレー



↑運動委員長の話《開会式》誓いの言葉↑



《閉会式》児童代表の話↑

4・5・6年生の代表児童による「選抜対抗リレー」では、会場が一つになって盛り上がりました。必死にバトンをつなぐ姿は、あこがれの的です。

5・6年生の係になった子どもたちは、それぞれの役割に責任をもって取り組みました。開会式や閉会式も、子どもたちの進行で、「子どもたちの子どもたちによる子どもたちのためのスポーツフェスティバル」...高学年として、スポーツフェスティバルを支える姿は、下級生の模範となりました。



《応援係》



《出発係》



《準備係》



《賞品係》



《審判係》

**お知らせ**  
6年2組の担任の先生がご結婚され、改姓しました。おめでとうございます。末永くお幸せに...

PTA 本部役員の皆様には、前日準備から、当日の演技中・片付けまで、大変お世話になりました。



東陽中学校区の小中学校では、毎月14日を「トーヨーの日」として、家庭内のコミュニケーションをより深めていくための「家ぞく団らんの日」としています。

